

磐城時報

日二十二
編輯兼發行 田田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
一部金銀(銀) 一月金銀
廣告料 一行十文字五円
日刊(日曜祝祭日) 翌日休刊

全軍の勇氣百倍

敵の堅陣に迫る

南支〇〇鎮の露營にて

高橋(本社内郷支局)君第二報

南支の第一線〇〇隊員とし
て奮戦中の本社内郷支局高
橋喜一郎君からの勇壯な第
一報は過般報導したが更に
第二報を以下紹介する、
〇〇に上陸した我が部隊
は前線の出動命令一下!!
〇〇に頑強に抵抗する有
力なる支那兵(約〇〇萬)
と稱せられる敵を包圍す
べく〇〇行軍を以て〇〇鎮
に向つたが暴支膺懲の血
に燃えた我が健兒はさし
も重量なる軍裝の行軍に
一人の落伍者もなく勇氣
百倍目的の地に到着した、
斯くの如き猛烈なる行軍
にもめげざる耐久力、決
心があつてこそ支那兵殘
滅に當る軍人の覺悟であ
らねばならぬと言つた様
な面持ちが全軍に漲つた
我が部隊は〇〇鎮附近に
露營し最前線進軍の準備
に移つた、「軍歌に唄ふ」
『道なき方(道)を付け』其
儘の状況である、〇家は
殆んど砲撃、空爆のため
破壊され跡方もない惨状
である、路上と言はず畑
と言はずクリクと言はず
すには我が友軍の精銳に
攻撃され倒れた支那兵が
死体となつて無数横たは

全治を待ち兼ねる

戦傷の兵隊さん

従軍看護婦渡邊さんの便り

内地の秋が思はれます、
元氣で傷病兵の看護に當
つてゐますが十月末限り
て来月からソ満國境の陸
軍病院に行きます、匪賊
の居る處です、病院も襲
撃されたさうですが私等
御國のために捧げた身故
何處で死なうと何んとも
思ひません、今年の生徒
さん達は如何です、生花
を一生懸命にやるやう御
傳へ下さい、病人は總て
さうですが殊に戦傷の兵
士さん達は何の樂しみも
ないので庭から花をこつ
て来て活けると何よりも

喜びます、生徒時代の生
花の時間にサボつてみた
ので自己流にしか活けら
れないので後悔してゐま
す、
毎日慰問品が来ます、そ
の時の嬉しさは筆舌に現
はされません、三つ四つ
の子供と同じです、お腹
に饑餓のものを巻いてゐる
から何だらうと見ると千

あす白眉の一戦

磐炭對平鐵の取組

前回以上の人氣を呼ぶ

豪華版磐陽野球大會

地方野球の豪華版磐陽野球
大會第二日は二十三日土曜
日二十四日曜日に磐中
球場で舉行するが第一日
以上の人氣を呼んでゐる
多敷觀衆で賑はふものと
豫想されてゐる、
△磐炭一平鐵
(前回7-7引分)
二十三日午後二時、審判
熊、石坂、佐藤、水竹
△古河一平鐵友
二十四日午前九時
審判佐藤、石坂、水竹
△第一日勝者一入山
二十四日午前十一時半
審判石坂、水竹、佐藤
△決勝
二十四日午後二時半
審判熊、水竹、石坂、佐
藤

人針です、元氣な患者は後一時から開き本町裏の暗二十五ヶ年間在職者及び五外時局講演會を催す管で
裁縫、洗濯等自分でやり
ます、「針を持ち田舎の
針を思ひ出し」です、軍
醫から退院してよいと言
はれるまで居る人はなく
一週間の前から退院して
戦線に再び立ちたいと大
騒ぎです、毎日ラヂオを
聞いてゐます。

四小學校で

時局教育協議

平市内四小學校は二十七日
午後一時から平第二校に打
合會を開き時局下に於ける
教育方針と其の施設に關し
協議する。

中島教諭出張

磐中中島教諭は既報の如く
今明二日間福島市に開かれ
る縣下師範學校及び中學校
の歴史科協議會に出席する

軍事後援會寄附

平市平窪堂下平窪會川元次
郎氏は三十圓を軍事後援
會に寄附した

市内九品寺住職遠藤心光氏

は同じく二十圓

暗渠工事の

寄附協議
平土木委員會は二十二日午
二時

非常時下の教育

けふ校長會で諮問
三十一日には教育總會

腕自慢の事から

遂に及傷沙汰
手斧で斬りつく
被害者生命危篤

事務員募集

一、年齢二十二、三才以上
一、小名濱一在任シ得ル者
一、自筆履歴書常務宛提出
一、ノット
一、面談御断リ
一、履歴書返還セズ

小名濱水産株式會社

のを見で自分も血達磨
なつて猶も暴れ廻り附近の
者もその威勢に恐れ逃げ
まはる始末で手に負へな
かつたが平署員が駆けつけ
逮捕し平署に引致した、被
害者は生命危篤である。

野木判事赴任

東京刑事地方裁判所に榮轉
された平區野木新一判事は二
判事係りで開かれる、

赤井村高萩福島炭礦坑夫新七、二十日午前九時發で赴任し
瀧縣北蒲原郡中浦村天王字
た、後任淺野判事は二十七
新川生れ増子貞治(四一)は八日頃着任する。
二十一日夜十一時頃自宅
同僚馬場勇(三八)と飲み合
ひで柔道の事から口論手斧
を揮つて馬場の背後から斬
りつけ肩胛三ヶ所に重傷を
負はせ鮮血に塗れて昏倒す
事務員募集會に出席する。

佐藤主任出張

關國防婦人會員二十名は夏
井川改修工事に出發勞働士
餘圓を國防費として獻金し
た。

銅線窃盜團

二十二日起訴
錦村昭和人絹會社増築工事
場の大林組合倉庫に忍び込
み四回に亘つて八百圓の被
覆銅線を窃取した栃木縣廳

警中臨時試験

警中の第三學期臨時試験は
二十二日から二十五日迄行
なれる

谷郡片岡村生れ無職宮澤力

谷郡片岡村生れ無職宮澤力
三ノ同那須郡東那須野村生
れ福田庄三郎(三)秋田縣由
利郡上郷村生れ佐藤一太郎
(三)の三名は其後平檢事局
の取調を受けられてたが二
十二日何れも窃盜罪で起訴

互融會事業報告

九月中

融通口數 七八〇
融通金額 三五五七・五〇
滿期拂戻口數 六四〇
滿期拂戻金額 三〇一五・〇〇

概況 昭和十二年九月末現在
會費數 八、一三〇口
世帯數 五、三三三戶
積立金一〇九、三二八・八七
融通金額 二〇、三三三・〇〇
融通金回収高 五、六四・七〇
滿期拂戻口數 三二五口
滿期拂戻金額 一五、三三三・〇〇

一、社會公共事業及慈善事業への奉仕
一、精神修養講話會
一、會員ノ吉凶慶弔
一、會員相互見舞
一、人事相談及婚姻ノ媒介
一、診察救済ノ補償
一、税金ノ代納事務取扱
一、會報發刊
一、勤儉日積立金ノ獎勵
一、小資本金ノ相互融通

太平洋火災海上保險株式會社平中央代理店
石城中小商工互融會
事務所 福島縣平市搦籠小路一番地 電話五五五番

小名濱方部 湯本方部
菊田方部 湯本町天王崎
植田町臺町 原町東一番町

電話 3番です

藥品百貨と
寫眞機材料の店です

平市本町二丁目
西村屋藥局

三百年の歴史を有する
家傳靈藥
馬相 **ハンサキ**
消食散
一名かけの藥

代理店 平市大町丸龜商店
電話一三三番

特許新洗劑 漬けて十分間 揉まずに落ちる

モゲン

モゲンは洗剤とは原料から異なり、洗剤の成分からアルカリと云ふ成分から製造されたもので、水に溶いても中性で毛織物を洗つて生地を縮める事なく、且又人肌やステール製成の短縮縮に堪へず、白物にははめず、美しく洗へ、其の漂白力が強く、どんな生地でも理想的に洗へる新洗劑です。

定價 一・二〇〇
三五〇

社會式株藥製業工一第 總本館石ルーセルマング

産科 婦人科 花柳病科

井坂醫院

平市田町(電話五五九番)

三五電・二平 店品洋野中 店約特

目丁三市平

丸ほん商店

番九五三話電 所業營
番二八一話電 所作製

コンボーク
塩豚

平町田町
三三三三屋
電話三三三番

診療科目

一、齒科 一般
一、補綴科 一般
一、矯正科 一般
一、小兒齒科
一、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科

公債・債券・質物一般

三井質店

平市四丁目
電話六〇六番

中野齒科醫院
院長 日本齒科中野憲次
醫學士 西川 誠
平市田町(松月堂向)
電話五〇九番
◇看護婦至急募集

店賣販 (同不順)

大谷時計店 (三丁目)
古山ラヂオ店 (二丁目警察通)
松崎硝子店 (新川町)
石田電氣店 (研町)
木村電氣店 (新川町)
瀧川電氣店 (柳町)
富永ラヂオ店 (驛前通)
藤波電氣工業所 (白銀町)

湯本町 上川電氣店 (上町)
白石藥局 (上町)
岩瀬屋 (天王崎)
長山電氣商會 (古港)
高橋ラヂオ店 (本町)
宮金坂 松本時計店
江名町 北村電氣店
四倉町 白川一森商店

秋ノ夜永トナリマシタ
電燈ノ節約ハ電球カラ

登録商標

新マツダランプ
(二重螺旋鐵條)

マツダ

東京電氣株式會社

電燈會社ガ三十五錢ノ電球ヲ買ツテ電球引替所デ十錢ヲ買ルトハ一個ノ電球デ二十五錢損シテ
マツダ電球ヲ電燈會社ガ使フトハ何ヲ暗示シマスカ?

吸入用酸素 純度 99%

モノサシ
ハカリ
マ ス

体温器
寒暖計

回秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス

回寫眞機 關内藥局
材料一式 電話四〇番